Summary of sections

9.1 Generalized Additive Models

Generalized Additive Modelsは、実際の事象に多く見られる線形モデルでは説明が難しい非線形な回帰事象を特定するために用いられる。線形モデルの発展形として有用ではあるが、膨大なデータに適用するには限界がある。

9.2 Tree-Based Methods

Tree-Based Methodsは、入力変数に対し、その条件に応じた2分割を繰り返すことでそれぞれの条件を満たしたグループに分割し、出力する手法である。その長所としては、本来は複雑な分類を樹形図によって表現することで簡単に理解できることにある。